

第1回千石町地区 生活道路交通安全対策協議会

平成30年12月13日

湯沢市



1. 千石町地区生活道路交通安全対策協議会開催主旨

(主旨)

近年の交通事故死亡者は、歩行者・自転車乗車中の死者が全体の半数を占め、またのその半数は自宅から500m以内の身近な道路で発生しているなど生活道路における交通安全対策は緊急の課題となっております。

今後、道路の機能分化を進め、自動車を安全性の高い道路へ転換するとともに、生活道路を歩行者及び自転車中心の空間にしていくという考えのもと、学校・地域・警察及び自治体等の関係者と連携して、生活道路の交通安全対策をより一層推進し、生活道路における速度抑制や、通過交通の進入抑制を図る必要があります。

湯沢西小学校周辺においてもゾーン30区域を定め、走行する自動車の速度を抑え、通過交通をできるだけ抑制し、歩行者や自転車の通過交通を優先させ、交通事故防止を図っているところであります。

今回このゾーン30区域を「生活道路対策エリア」として登録を行い、より安全な生活道路の交通安全の確保に向けた着実かつ効果的な推進を図るため、協議会を開催する。

2. 協議会メンバー構成



◆協議会メンバー構成

○学校

- ・湯沢西小学校 ・湯沢西小学校PTA
- ・湯沢南中学校 ・湯沢南中学校PTA
- ・湯沢高等学校

○地域

- ・千石町町内会 ・千石町第1町内会
- ・中野町内会
- ・西小キッズ見守り隊
- ・湯沢南児童クラブ

○警察

- ・秋田県警湯沢警察署

○国土交通省

- ・湯沢河川国道事務所
(オブザーバー)

○湯沢市

- ・教育委員会事務局教育部 学校教育課
- ・市民生活部くらしの相談課
- ・建設部建設課(道路管理者)

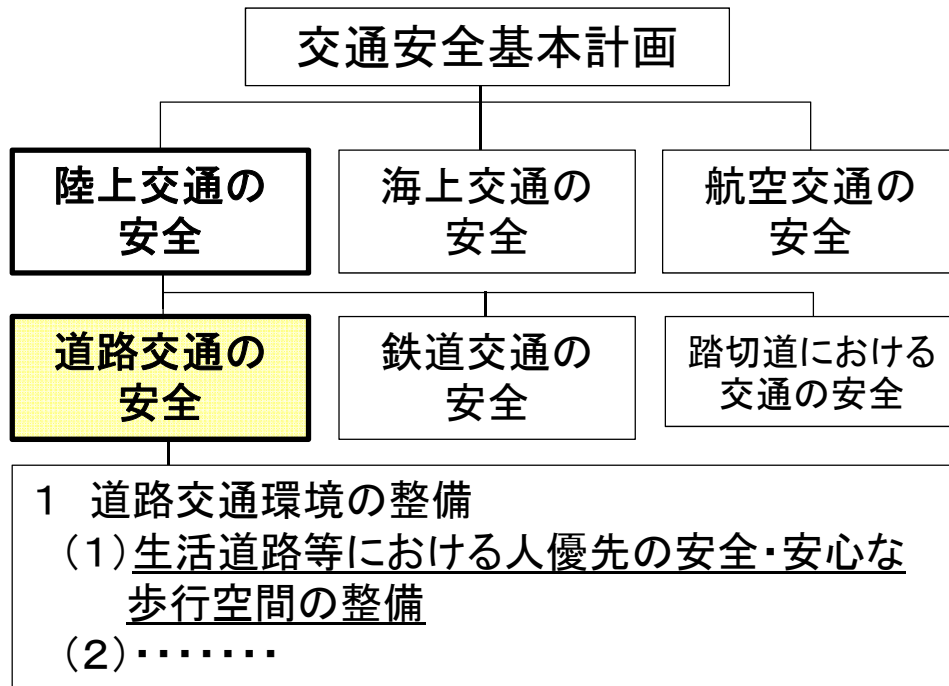
3. 第10次交通安全基本計画

※（平成28年度3月11日決定 計画期間：平成28～32年）

（目標）

- 平成32年度までに死者数を2,500人以下にする（平成27年：4,117人⇒約4割減少）
- 歩行中・自転車乗車中の死者数を、全体の減少割合以上の割合で減少させる

■交通安全基本計画（全体像）



＜交通安全計画における目標＞ ※道路交通の安全

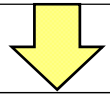
- ①平成32年度までに24時間死者数を2,500人以下とし、世界一安全な道路交通を実現する。
- ②平成32年までに死傷者数を50万人以下にする。

さらに、諸外国と比べて死者数の構成率が高い歩行中及び自転車乗用中の死者数についても、道路交通事故死者数全体の減少割合以上の割合で減少させることを目標とする。

4. 「生活道路対策エリア」の取組フロー

【生活道路対策エリア候補の抽出】

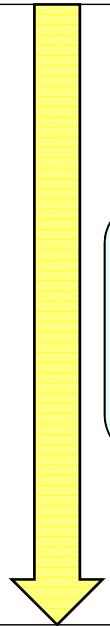
交通事故データ等を活用し、候補区域を抽出



・ゾーン30指定区域と整合を図って抽出

【生活道路対策エリアの登録】

登録様式を作成し、直轄国道事務所等への登録申請



Plan ○点検、計画策定

地域協働の推進体制の構築

PDCAサイクルの継続的な取組
進めるため、通学路の交通安全確保の
推進体制等を活用し、地域協働の推進
体制を構築

・教育委員会 ・学校 ・PTA ・警察
・道路管理者 ・自治会代表者 等

Action

○対策の
改善・充実

Do

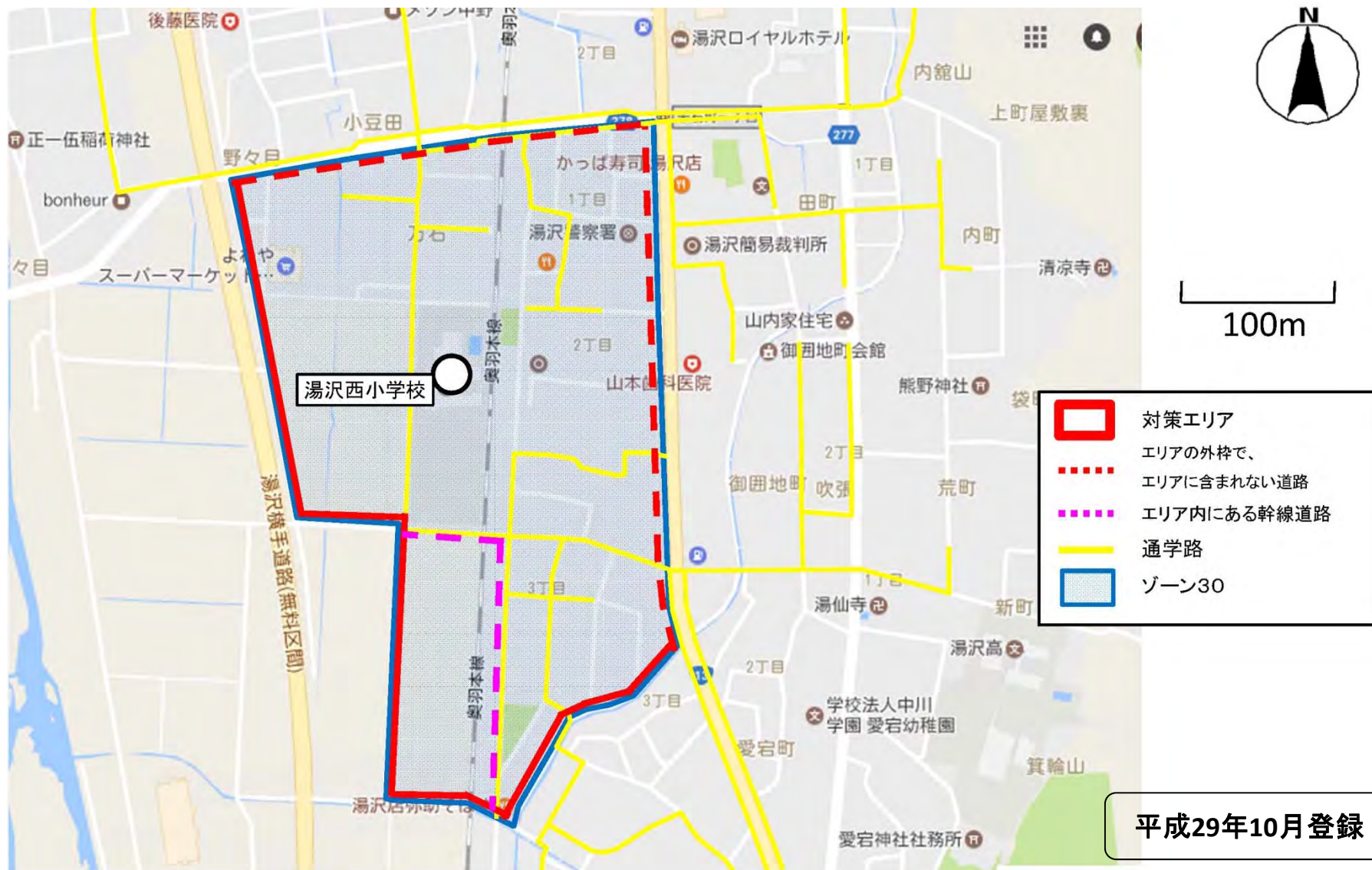
○対策実施

Check ○対策効果の把握

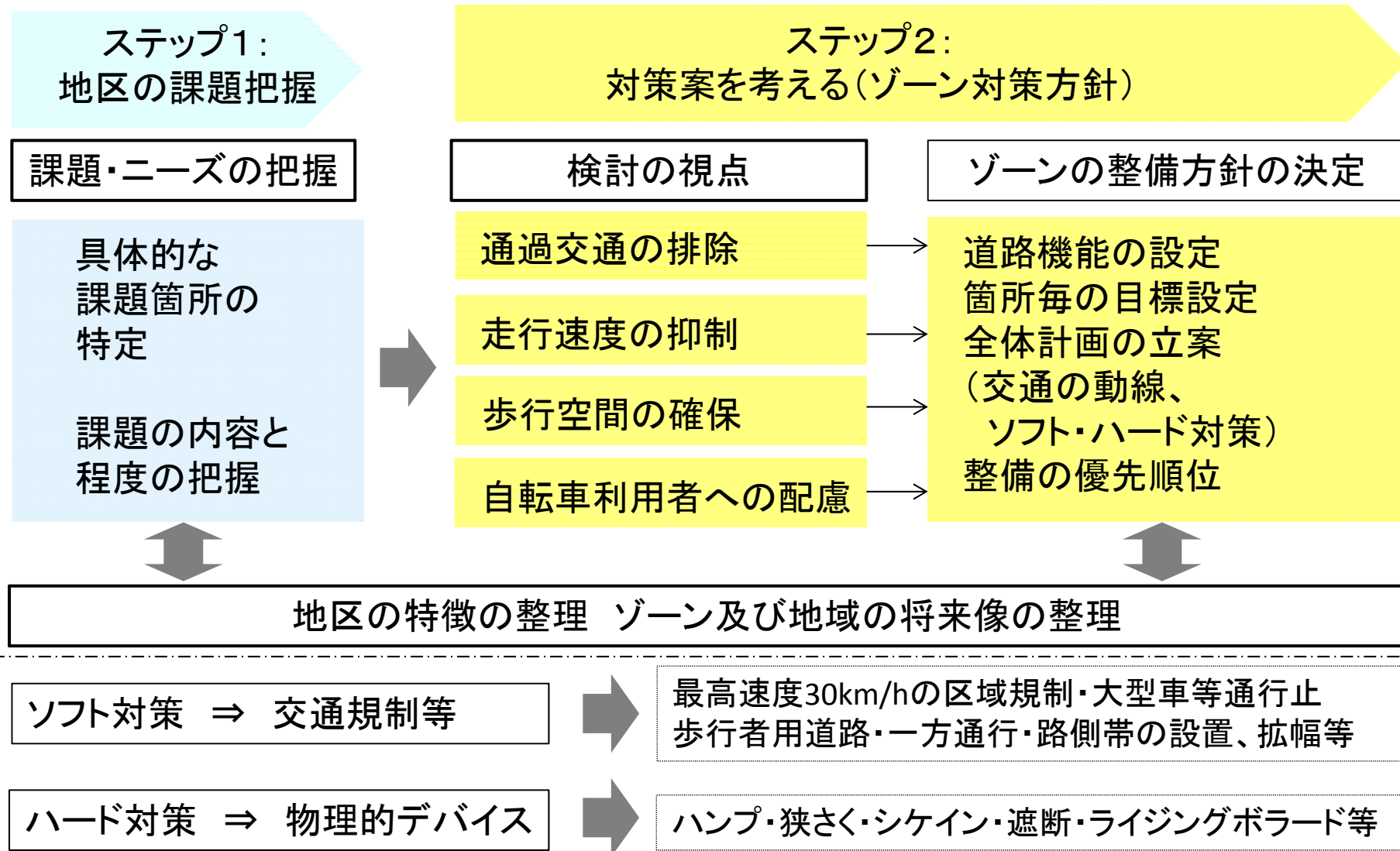
【取組の公表】

地域住民や道路利用者等の理解と協力を得るために、HPや広報掲載

5. 「千石町地区生活道路対策エリア」の登録



6. 対策の考え方



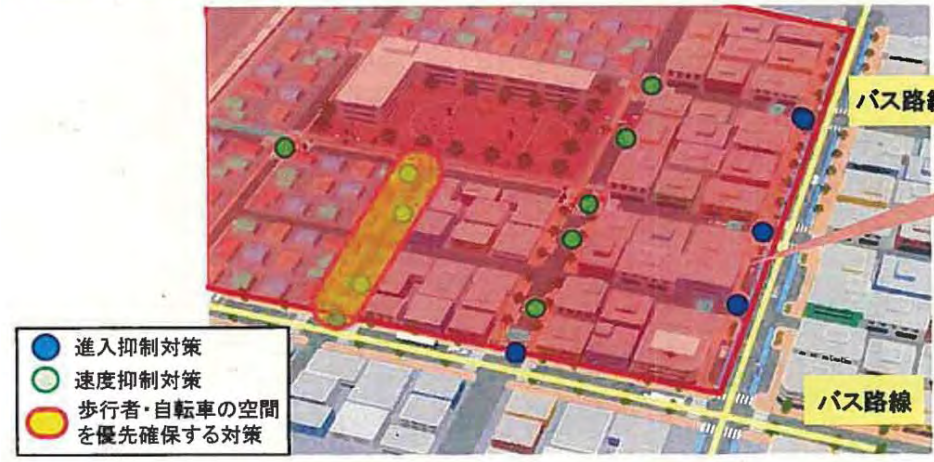
7. 対策事例①

進入口を入りにくくする

スムーズ歩道 ライジングボラード

走行速度を抑制する

凸部(ハンプ) 狭さく シケイン



○公安委員会により実施される交通規制、交通管制及び交通指導取締りと連携

ゾーン30
(都道府県公安委員会)



歩行者・自転車の幅員を優先して確保する

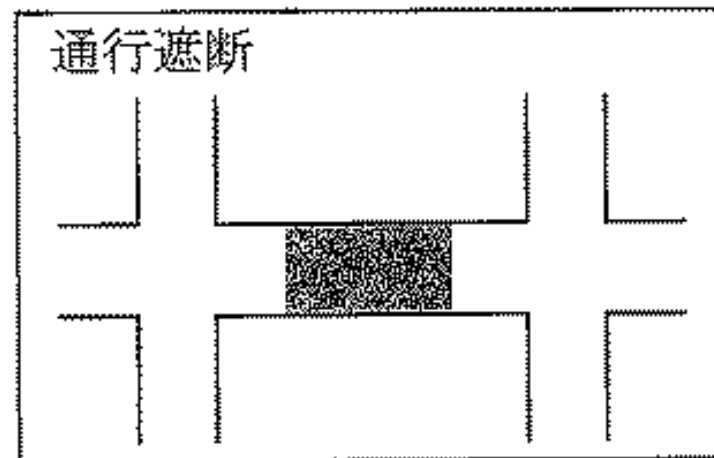
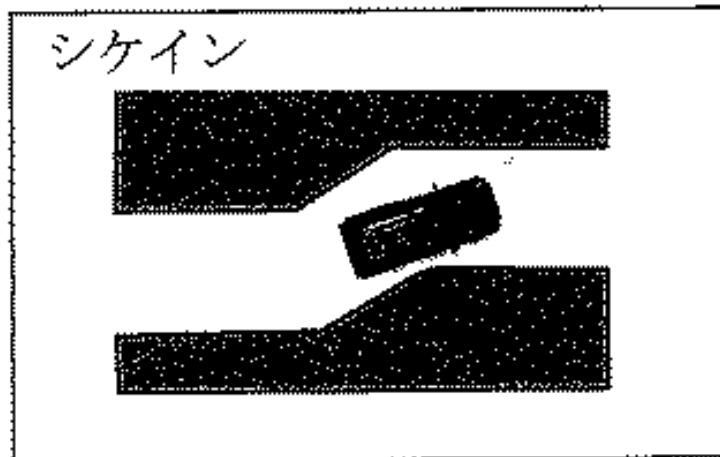
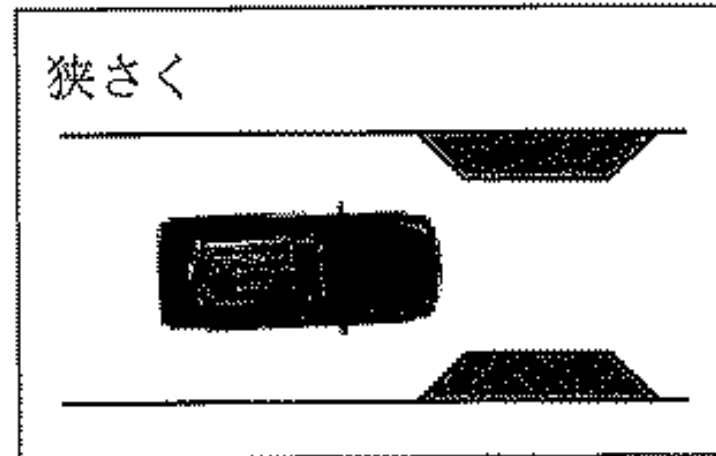
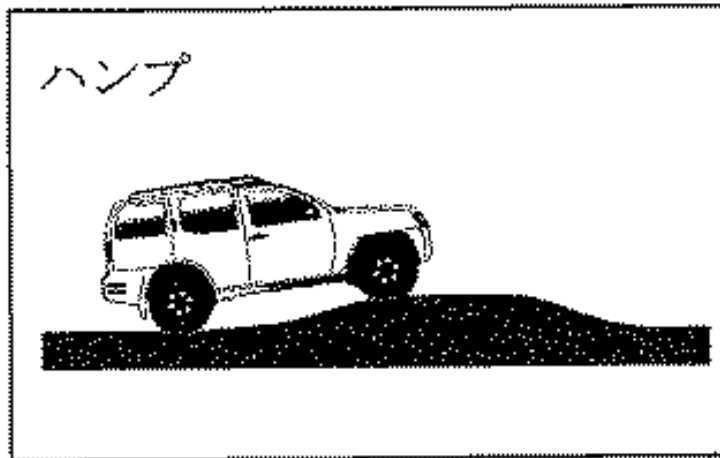
カラー舗装 自転車専用通行帯 自転車専用通行帯 カラー舗装

(イメージ)

危険箇所を対策する

防護柵

8. 対策事例②



9. 湯沢警察署 湯沢西小学校周辺 ゾーン30

～通学路・生活道路の新たな対策～

ゾーン30

歩行者の安全と事故防止

- ◆ 湯沢西小学校近くの地域を30キロの速度規制にして、歩行者優先の道路にします。
- ◆ ゾーン内は、最高速度30km/hを遵守しましょう。
- ◆ できる限り、ゾーン内の通り抜けを控えましょう。

1 「ゾーン30」とは

通学路・生活道路対策として、区域を定めて最高速度を30キロに規制するのが「ゾーン30」です。
区域内を走行する自動車の速度を抑え、通過交通をできるだけ抑制し、歩行者や自転車の通行を優先させ、交差事故防止を図る施策です。

2 どんな道路標識や標示が設置されるの？

「ゾーン30」の出入口交差点に、下記のような標識・標示・看板などが設置されます。

規制標識



看板



道路標示



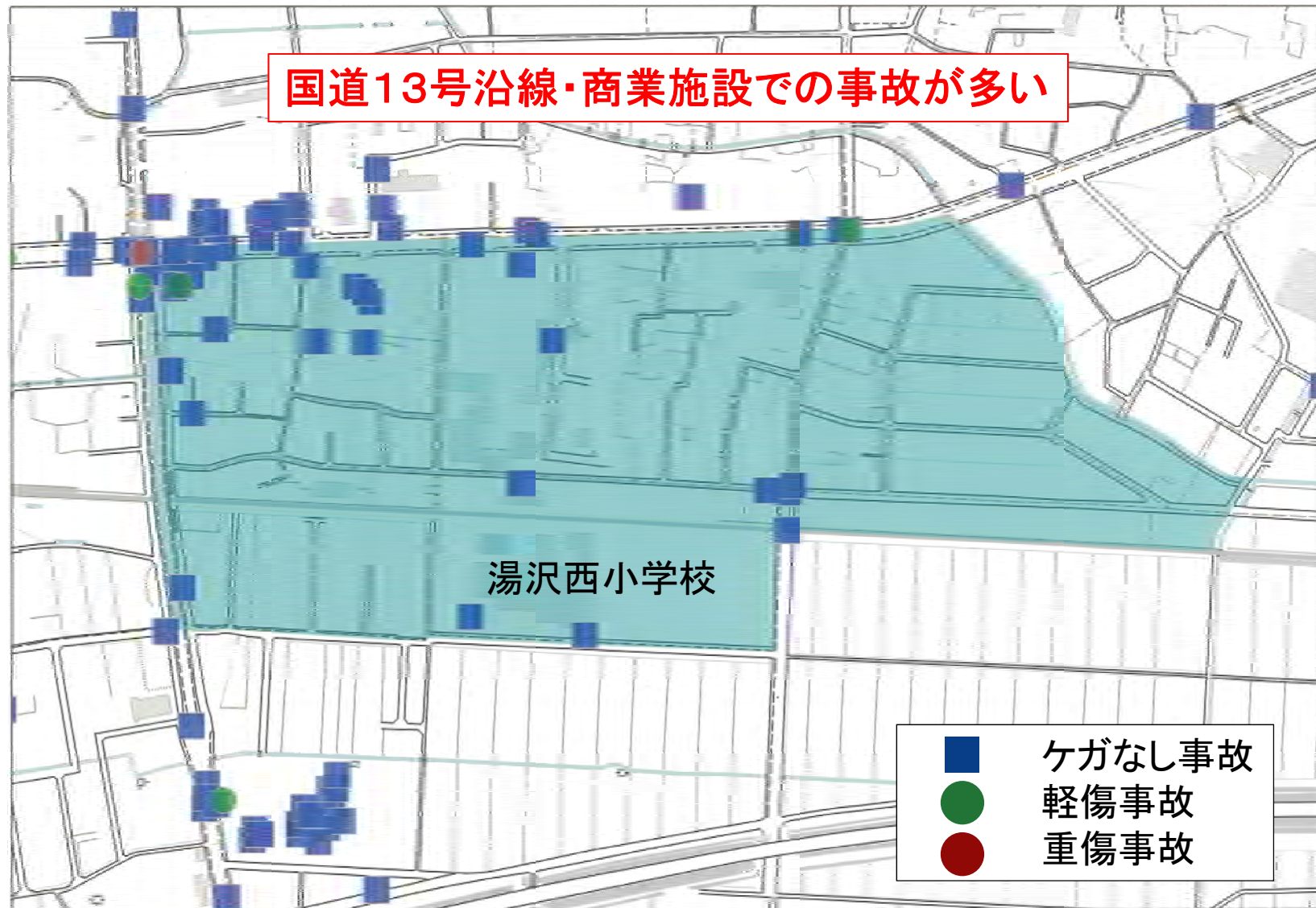
ゾーン30整備地区



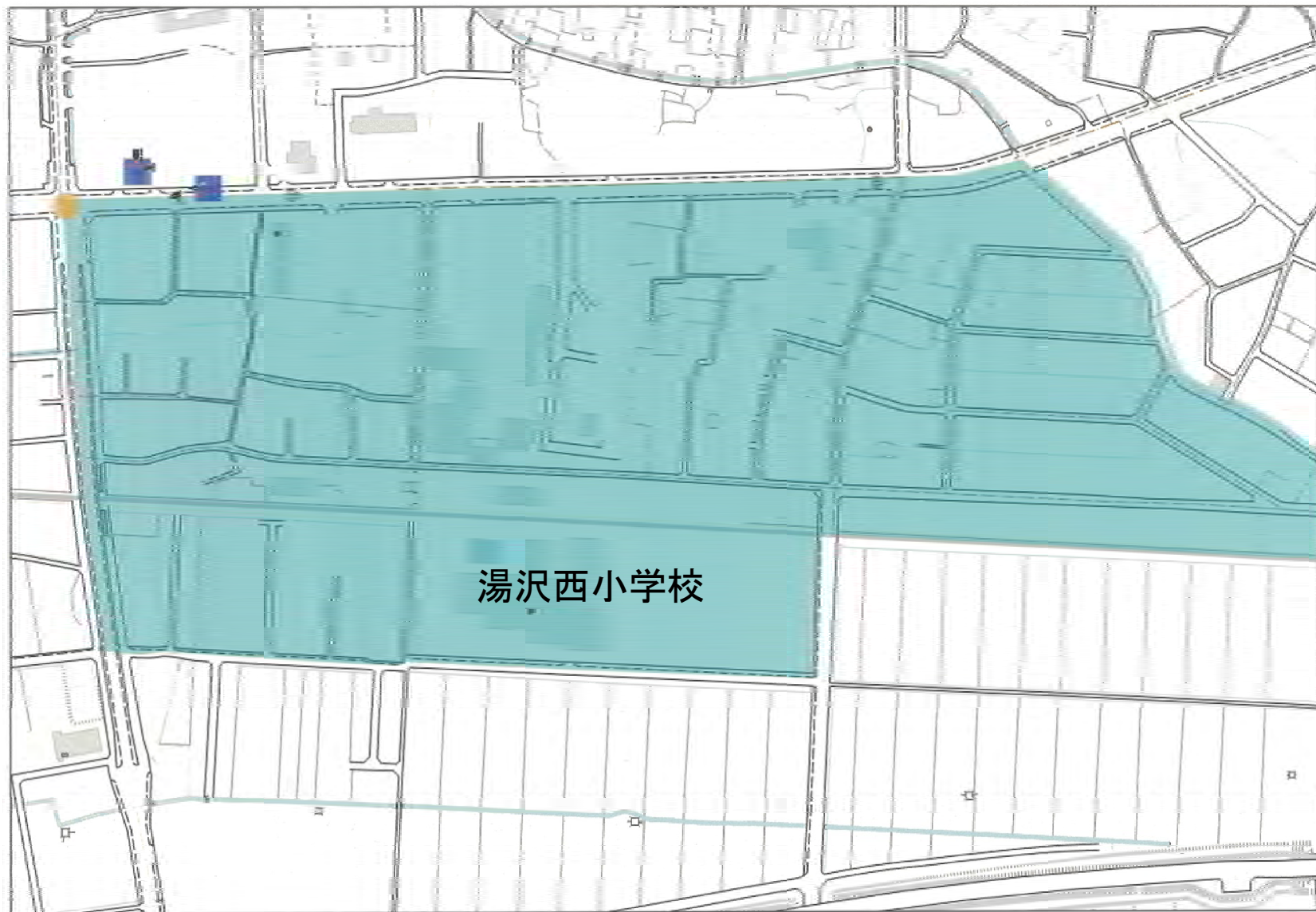
平成26年7月9日付けで区域を拡大しました。

湯沢警察署

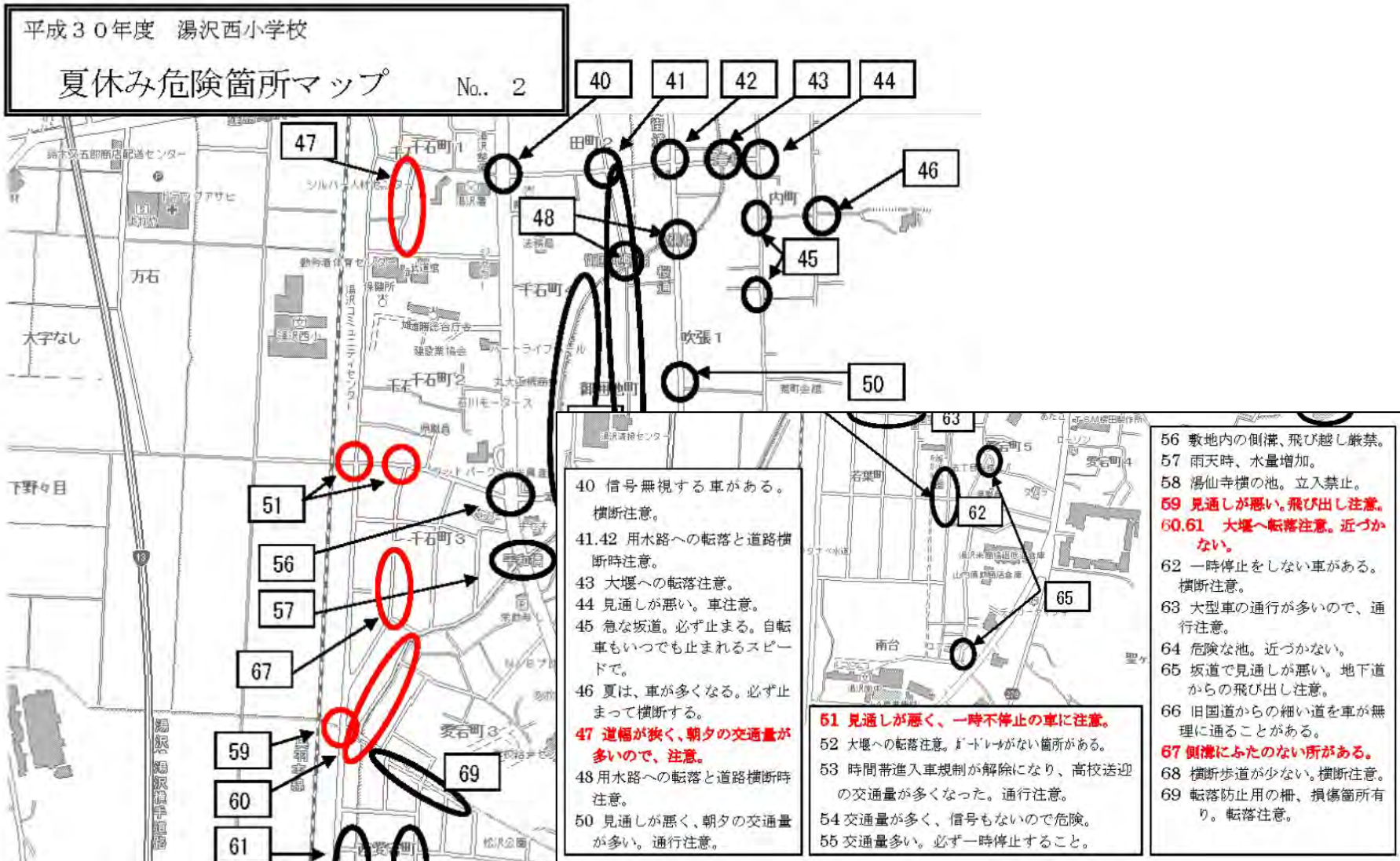
10. 過去3年間のゾーン30周辺で発生した事故箇所



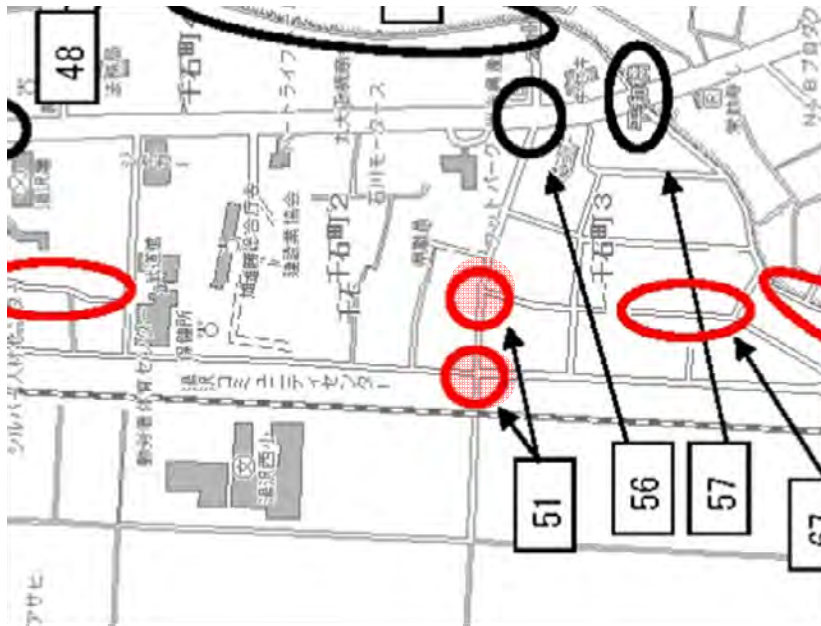
11. 過去3年間の車による人身事故



13. 湯沢西小学校 危険箇所マップ



14. 湯沢西小学校 危険箇所マップ（箇所毎）



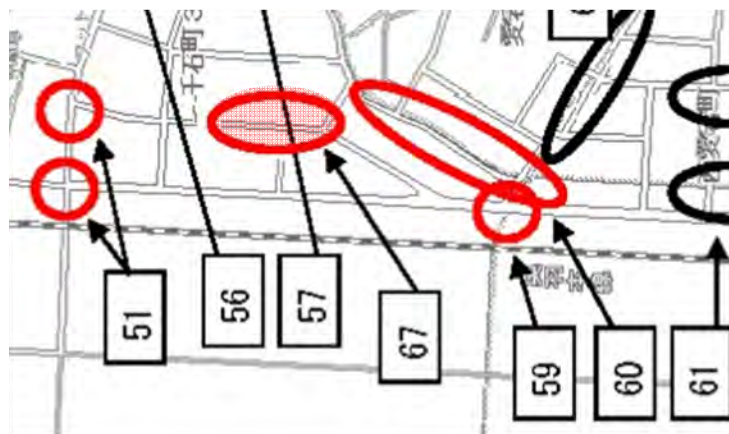
見通しが悪く、一時不停止の車に注意



15. 湯沢西小学校 危険箇所マップ（箇所毎）



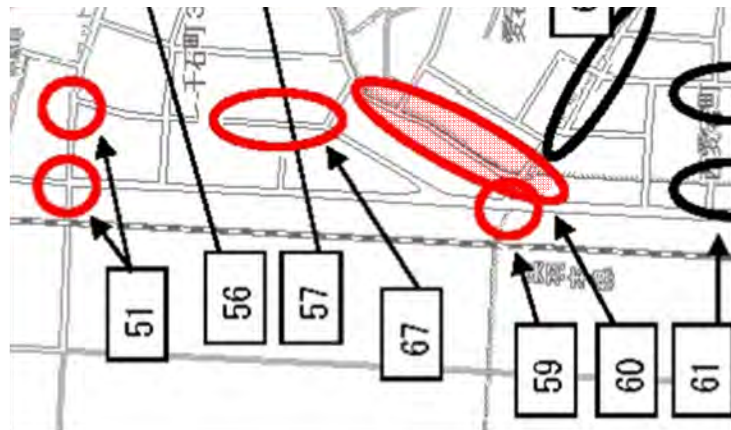
朝夕の交通量が多く、通行注意



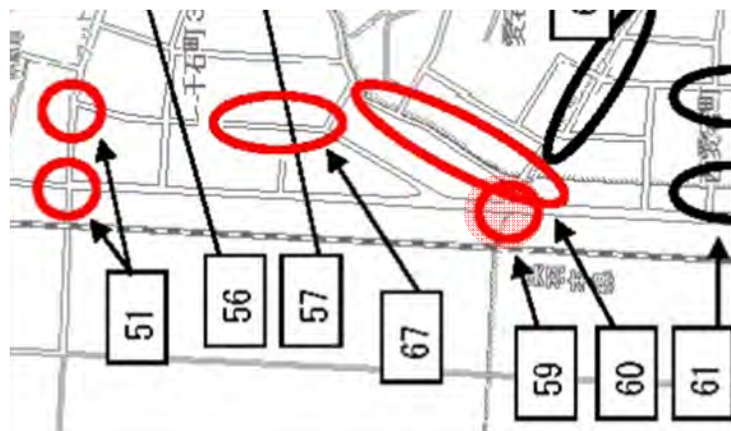
側溝にふたのないところがある



16. 湯沢西小学校 危険箇所マップ（箇所毎）



大堰へ転落注意 近づかない



見通しが悪く、一時不停止の車に注意



17. 通学路安全対策協議会（H28.11.30開催）



市道西松沢線
H27. 1. 20通学風景

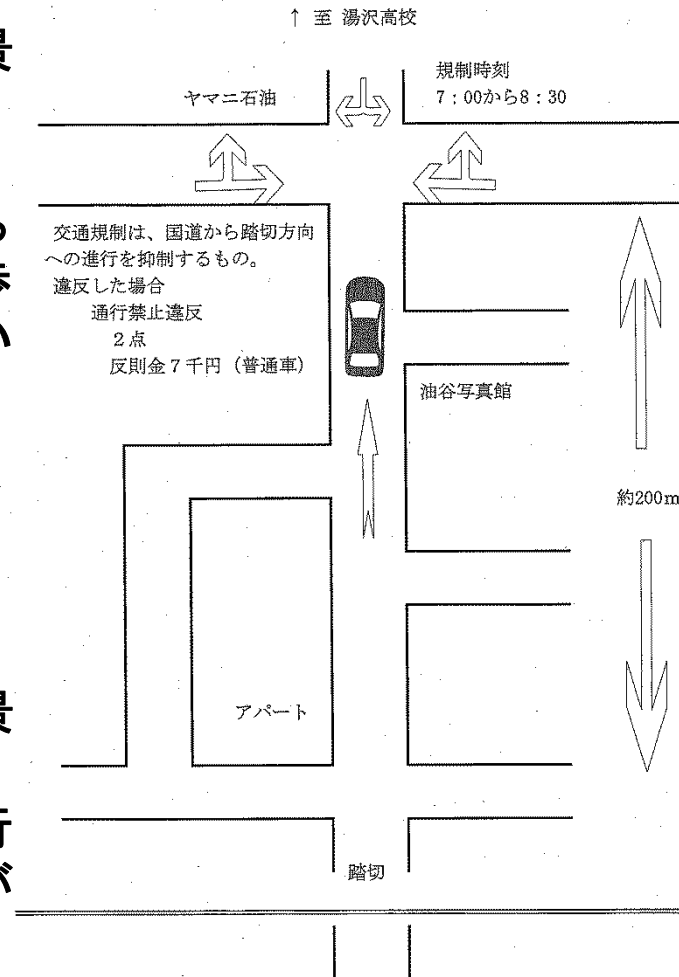
対向車が進入
してくることから
車輛が端により歩
行スペースがない

規制後 ↓



市道西松沢線
H28. 1. 24通学風景

規制により歩行
スペースに余裕が
生じている



18. 通学路交通安全プログラム対策箇所一覧



